

すもとがわ たけのくちうら
洲本川と 炬口浦

所在地：洲本市 炬口



「洲本川」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

洲本川は、生業や生活を支える水を提供してきました。洲本に城下町がしかれた時代には、鍛冶や藍染に用いる水として、また、明治以降に紡績業が盛んになった時代にはその工業用水を提供する川として地域の産業を支えてきました。

その一方で、洲本川水系は大規模な洪水が頻繁におこる地域であったため、河川改修などが行われ現在の形状となっています。

洲本川の河口にある炬口浦は、大阪湾からの玄関口として東浦にならぶ交通拠点でした。炬口港へ出入する船の夜間の目印としてたいまつを焚いたことが、地名の由来ではないかと伝えられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号を東へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図